

報恩講とは？

浄土真宗を開いた親鸞聖人の亡くなった日を縁として行う行事です。

親鸞聖人は私たちのために、「仏さまに感謝して、自分を見つめながら生きなさい」と言われ、現在の笠間市稲田に約20年の長い間住まわれました。



写真：笠間市稲田469 西念寺本堂

(リンク資料 https://www.shin.gr.jp/shinran/site/s_027.html)

そして、「手を合わせましょう」と言ってたくさんのお弟子を作りました。(その弟子の1人が、**常弘寺**の開基です)



写真：常弘寺 本堂



写真：常弘寺 鐘楼



画像：1173-1262 親鸞聖人

私たちに人間としての生き方、生きる目的を教えてくださいました方、それが親鸞聖人です。そして、その教えに感謝する法要が「**報恩講**」なのです。

京都の西本願寺では、1月16日が聖人のご命日であることから、1月9日から8日間盛大に法要が営まれます。

幼稚園での報恩講

- ・ 浄土真宗を開いた親鸞聖人の亡くなった日を縁として行う行事です。
- ・ 全園児、常弘寺本堂にお参りをします。感謝の思いをこめてお勤めをし親鸞様の生い立ちの話を常弘寺住職から聞きます。
- ・ 命の尊さを学びます。



献灯献華の様子



焼香の様子



住職のお話



親鸞聖人成人像見学

[親鸞様の幼少期（紙芝居）はこちら](#)